

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	17
科目コード	05011	科目名	アパレルデザイン論 I	授業期間	前期・後期

担当教員(代表): 阿川 周子	共同担当者: 1組=阿川 2組=松本
-----------------	--------------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>人体の構造や運動機能を視野に入れ、素材の特性を活かした作品を平面裁断、立体裁断のテクニックにより個々のデザインの発想力と表現力を身につける。</p>
---

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・アパレルデザイン 論	05011・05012	前期2単位	後期2単位
・アパレルデザイン演習 デザイン	05251・05252	前期2単位	後期3単位
・アパレルデザイン演習 ドレーピング	05351・05352	前期2単位	後期2単位
・アパレルデザイン演習 実技	05451・05452	前期2単位	後期2単位

1、ドレーピング	38コマ(前期)スカート、胸ぐせダーツ、ブラウス ドレーピングによるデザイン発想(実物製作・レポート)
2、機能服からのデザイン発想	27コマ(前期)作図理論、デザイン、パターン、実物製作、レポート
3、バザー作品	23コマ(前期・後期)文化祭バザー作品、グループ製作
4、ジャケット	55コマ(前期・後期)ドレーピング、作図理論、デザイン、パターン、実物製作、 レポート
5、民族服	3コマ(後期)作図理論
6、皮革作品	30コマ(後期)作図理論、デザイン、パターン、実物製作、レポート
7、修了製作	54コマ(後期)作図理論、デザイン、パターン、実物製作、レポート

#### レギュラー科目内特別講義

1、ユニフォームについて・・・(ユニフォームの機能性とデザイン)	佐古 かがり	1コマ
2、子供服について・・・(デザインと市場調査)	瀧川 歩	1コマ
3、皮革について・・・(皮革の種類・扱い方)	藤田 晃成	2コマ

#### 評価方法・対象・比重

・アパレルデザイン論・・・筆記試験、レポート	・ドレーピング・・・提出物、実技試験
・デザイン・実技・・・製作物	

主要教材図書	服飾造形講座 スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ 高級素材、特殊素材、立体裁断 基礎編 応用編
参考図書	織研新聞、WWD、情報誌、コレクション
その他資料	参考作品、プリント

記載者書名欄	阿川 周子
--------	-------

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2年	単 位	単位 2
科目コード	51121	科目名	ファッションデザイン画 II A	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

将来的に戦力となるデザインワークを身に付け、各自の個性とセンスの光る感性あるファッションデザイン画の表現を目標とする。

#### I ポーズバリエーション／ランジェリー・水着デザイン

- ・汎用性のあるポーズの作成(手、足、顔の描き方)
- ・仕上げ線の描き方研究(ドローイングペン、筆ペン、色鉛筆)
- ・レース、透ける素材の描き方 (4コマ)

#### II 着装バリエーション／・着装プロセスの復習

- ・コントラストを付けた水彩色テクニックの習得 (4コマ)

#### III コンテスト画／\*YKK ファスニングアワード・・・副資材の描き方練習

- \*新人デザイナーファッション大賞 (4コマ)

#### IV アイデアスケッチ／ディテールの表現

- フレアー・ギャザー・プリーツ・ドレープなどの応用デザイン
- グレースケールによる陰影彩色 (2コマ)

#### V 布・紙からのデザイン／・布と紙を使い造形練習・・・鉛筆デッサン

- ・製作した造形物から服のデザインへ展開 (4コマ)

#### VI マーカー彩色テクニックの習得

(2コマ)

#### VII パステル彩色テクニックの習得

(2コマ)

#### VIII 製品図／対象物を立体としての確に捉え、明瞭な線図にする

- \*ペン(太、中、細)の使い方を習得 (2コマ)

#### IX マイコレクション／コンセプトの探究とテーマに基づいたデザイン画の表現方法

- ・イメージをビジュアル表現
- ・デザイン展開・・・デザイン画、製品図、テキスタイル (4コマ)

\*夏休み課題・・・装苑賞応募のためのポートフォリオ制作

評価方法・対象・比重

各課題制作物と前期末試験による評価

主要教材図書 文化ファッション大系『ファッションデザイン画』

参考図書
その他資料
記載者氏名

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2年	単 位	単位 2
科目コード	51122	科目名	ファッションデザイン画 II B	授業期間	( 後期 )

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

将来敵に戦力となるデザインワークを身に付け、各自の個性とセンスの光る感性あるファッションデザイン画の表現を目標とする。

- I ポートフォリオ／コンセプトの探究とテーマに基づいたデザイン画の表現方法
- ・イメージをビジュアル表現
  - ・デザイン展開・・・デザイン画、製品図、テキスタイル (4コマ)
- II 色のイメージからの発想／色彩と感情、抽象的イメージを具体化するための表現方法 (4コマ)
- III ファブリックデザイン／マチエール研究、素材表現
- 素材を加工しオリジナルファブリックづくり
- 上記の素材を使い2体着装デザイン (4コマ)
- IV コンテスト画／＊学内コンテスト (2コマ)
- V 修了制作／創作デザインと表現力の強化
- ＊校内ファッション画展にむけての作品制作 (8コマ)

## 評価方法・対象・比重

各課題制作物と学年末試験による評価

主要教材図書 文化ファッション大系『ファッションデザイン画』

参考図書

その他資料

記載者氏名

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科	2 年	単 位	1
科目コード	50200	科目名	デッサン		授業期間	

担当教員(代表)：牧かほり	共同担当者：
---------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

ものを見る目を養う＝対象物を客観的に見つめ。基本構造(構成、動き、立体感、質感など)をとらえる。見たものをそのまま描ける力＝感覚神経と運動神経の連係プレーを鍛える。描く、という事によって自分のクリエーションに新たな視点を見つける。

## 授業概要＝

基礎形体を描写することにより、遠近法、光と影の関係、反射光の存在など基本的な「描き方」を学ぶ。  
ヌードクロッキーにて人物描写の体験  
静物・石膏デッサンで物と物との「関係」の描き方、「空間」の描き方を学ぶ。  
さらに、上手い絵、未熟な絵、魅力的な絵について考察し、今後の作品制作につなげる。

## 評価方法

提出物／A, B, C, F

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

## 記載者書名欄

科コード 12202 科名 アパレルデザイン科2年

単 位 1

科目コード 53145 科目名 色彩論

授業期間 前期

担当教員(代表)：天野豊久

共同担当者：

## 教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザインに活用するための配色の技術、色彩計画の考え方を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- |         |   |               |
|---------|---|---------------|
| 1. 概論   | ファッションにおける色彩の役割<br>色彩の基礎(復習)  | 〈講義および演習 1コマ〉 |
| 2. 配色   | 色相・トーンによる配色<br>基調色と配合色<br>色相・トーンに基づいたアソートカラーパレットと配色   | 〈講義および演習 2コマ〉 |
| 3. 配色技法 | ファッションカラーコーディネート<br>トーン・オン・トーン／フォ・カマイユ<br>トーン・イン・トーン／トータル<br>配色の技法<br>無彩色の配色<br>ナチュラルハーモニー／コンプレックスハーモニー<br>アンダートーン<br>ファッションイメージと配色 | 〈講義および演習 6コマ〉 |
| 4. 色彩計画 | 色彩と産業／色彩と心理<br>流行色の仕組み<br>色彩の心理的な効果(興奮色と沈静色)／色彩嗜好<br>カラーデザイン①<br>カラートレンド情報からのコンセプト、イメージ構築<br>カラーデザイン②<br>デザインからのカラーバリエーション展開        | 〈講義および演習 6コマ〉 |

## 評価方法・対象・比重

各演習課題に対する総合評価を主とし、出席など授業態度を加味して最終評価とする。

## 主要教材図書

文化ファッション体系『服飾デザイン』(文化出版局)

## 参考図書

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

記載者書名欄 天野豊久

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科	2 年	単 位	1
科目コード	50900	科目名	造形演習		授業期間	

担当教員(代表)：牧かほり	共同担当者：
---------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>発想-表現-コミュニケーション 3つを連動させながらクリエイションの力をつける。 特に自分自身を見つめ、コンセプトをしっかりと組み立てる力を養う。制作の姿勢が社会や世界に向いていること。 グラフィックとしての構成力、プレゼンテーション力、伝える力の強化を目指します。</p>
--

<p>授業概要＝</p> <p>発送法、デザインの知識、プレゼンテーション方法などをそれぞれの課題の中で学んでゆく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝わるポートフォリオの作り方</li> <li>・ 伝わるデザイン</li> <li>・ 紙立体からのデザイン発想</li> <li>・ 粘土立体からのデザイン発想</li> <li>・ コラージュによるストーリーの展開</li> <li>・ ことばの演習 etc.</li> </ul>
--

<p>評価方法</p> <p>提出物／A, B, C, F</p>
-----------------------------------

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄
--------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2年	単 位	1 単位
科目コード	20110	科目名	アパレル染色演習 I	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）： 篠原 幸子	共同担当者： 伊藤 望
-----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

テキスタイル染色に関する基礎的な知識、技法を各種実験・実習を通じて得ることにより、アパレルにおける新たなデザイン発想の可能性を広げる。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについて理解を深めることを目標とする。

- 縮絨加工 （ 2 コマ ） ・羊毛の縮絨性について （講義）  
・繊維を生地にする（原毛からのフェルト制作） （実習）  
・ニードルパンチの応用 （実習）
- 染色概論 （ 1 コマ ） ・主な染料の種類と染色性、染色の仕組み、染色条件について （講義）
- 絞り染 （ 2 コマ ） ・絞り加工による服飾素材づくり （講義・実習）
- 捺染加工 （ 6 コマ ） ・捺染の種類、染料と顔料の違いについて （講義）  
・顔料樹脂染料、反応性染料プリント （実習）  
・特殊プリント加工 （実習）
- 乾式熱転写プリント （ 1 コマ ） ・分散染料による乾式転写の原理および技法について （講義・実習）
- マーブリング （ 1 コマ ） ・インクによるマーブル模様表現について （講義・実習）
- 天然染料 （ 1 コマ ） ・天然染料と化学合成染料の違いについて （講義）  
・天然染料の特性について

評価方法・対象・比重
各実験・実習ごとの作品、レポートによる総合評価

主要教材図書
文化ファッション大系 服飾専門講座 3. アパレル染色論
参考図書
その他資料

記載者氏名 篠原 幸子
-------------



科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2 年	単 位	2
科目コード	20220	科目名	アパレル素材論Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：	共同担当者：
野沢 彰	

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1 年次の「アパレル素材論Ⅰ」で学んだ素材の知識を踏まえ、基本的知識を充実させ、アパレルデザインにおけるテキスタイルという観点から、素材の見方、選択のポイント、製品の品質との関連などについて学ぶ。また、国内のテキスタイル産地についての現状や地域別に得意とする素材、技術などを知る。

素材の性質とアパレルデザイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・（10）

- ・「可塑性」を利用したアパレルデザイン
- ・生地 of の性能評価

日本のテキスタイル産地・・・・・・・・・・・・・・・・・・（3）

ニットとレースについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・（2）

- ・編地の種類と特徴
- ・レースの種類と特徴

アパレル製品の品質・・・・・・・・・・・・・・・・・・（4）

- ・布地の特性とクレーム
- ・アパレル製品の品質表示
- ・アパレル製品の取扱い

布地の外観、風合いとその表現技法の関係・・・・・・・・・・（5）

織物工場見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・（2）

- ・文化ファッションテキスタイル研究所見学

評価方法・対象・比重

学期末試験、レポート課題、出欠席などの学習姿勢による総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系服飾関連講座①「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック・アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 野沢 彰

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	40420	科目名	服装解剖学Ⅱ	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）：伊藤由美子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1 年次で学んだ服装解剖学の基礎を発展させ、筋の構造を解剖学的に理解させる。さらに動態計測（石膏計測）実習により、衣服製作に必要な皮膚の運動量・変化を把握させ、計測結果を基に機能性大の衣服設計（デザイン）を行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション（講義内容の説明）	16	
2	人体の運動と筋（筋の種類・筋の分類）	17	
3	〃（上肢の運動計測からの衣服制作）	18	
4	人体の運動計測（石膏計測法の説明）	19	
5	人体の運動計測（石膏計測実習）	20	
6	〃	21	
7	人体の運動計測（貼紙実習）	22	
8	人体の運動計測（和紙の展開実習）	23	
9	人体の運動と筋（頸部の筋）	24	
10	人体の運動計測（胸部の筋）	25	
11	人体の運動計測（背部の筋）	26	
12	人体の運動計測（腹部の筋）	27	
13	機能性大の衣服について	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

レポート…60%、ノート…20%、出欠状況…10%、プリント…10%、

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 伊藤由美子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	1
科目コード	60210	科目名	ファッションビジネス論Ⅰ	授業期間	後期

担当教員(代表)：波多野 辰美	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッション業界に於いて業務推進に必要な知識を具体例を挙げながら、分かり易く説明をし業界人としての基本的な知識の習得を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションビジネスの基礎知識 (講義) コマ数＝5

- ・オリエンテーション
- ・ファッションマーケットの現状と問題点
- ・生産体制
- ・マーケティング発想のデザインとは
- ・ブランド構築の方法論

テーマ ファッションビジネス演習 (講義、グループ演習) コマ数＝8

既存のブランドをグループ毎に担当し、企業と同じ手順で企画を行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重 課題レポート、シミュレーションの完成度、出席日数
主要教材図書
参考図書
その他資料
記載者書名欄

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2年	単 位	単位 1
科目コード	63101	科目名	アパレルマーチャンダイジングⅠ(自由選択)	授業期間	( 後期 )

担当教員(代表)：丹治龍子	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1. アパレル製造業のデザイナーの実務をベースに、企画 MD の実学を通しデザイナーの育成を目指す。
2. 集中授業によるブランディング学習を实践。2年後期にはオリジナルブランドのコンセプト設計を行ない、ブランド立案の手法を学び、3年前期にはブランドコンセプトに即したシーズン企画の提案演習を行なうことにより、ブランドの成り立ちから商品企画の一貫した実務内容を把握し、デザイナーが必要な商品計画の基本を習得。また、制作資料による各個人のプレゼンテーションを行ない、伝達能力のスキルアップを目指す。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	アパレルMD概論/ブランディングについて	16	
2	〃	17	
3	ブランドの立案:①ブランドネーム&コンセプト立案	18	
4	〃	19	
5	②ポジショニングマップの作成	20	
6	〃	21	
7	③コアターゲットの分析と設定	22	
8	〃	23	
9	④プロダクトMD/商品&サイズ構成立案	24	
10	〃	25	
11	⑤プロダクトMD/価格MD計画立案	26	
12	〃	27	
13	ブランドコンセプトのプレゼンテーション	28	
14	〃	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

\* 作品評価/ブランド立案によるコンセプトブック作成資料の評価

主要教材図書

参考図書

その他資料	業界新聞、ファッション雑誌	等
記載者氏名		

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	1
科目コード	92000	科目名	西 洋 美 術 史	授業期間	後期

担当教員(代表)：江本 創	共同担当者：
---------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

私たちの美意識の源泉となっている西洋美術のなりたちをたどる。  
過去の名作に通じて、美術表現の意味や可能性について考える。  
また、各時代：作者の様式を成立させた文化的、社会的背景を探ることにより美と社会との関わりを意識する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

通史によって西洋美術史の全体像を概観する。

時代様式とその背景について概説した後、画像により作品を紹介する。(後者に重点を置く)

### I (4)

- ・先史美術、古代エジプト美術
- ・メソポタミア、古代地中海美術
  - ・古代ギリシア美術
- ・エトルリア、古代ローマ美術

### II (4)

- ・初期キリスト教美術
- ・ビザンティン美術
- ・ロマネスク美術
- ・ゴシック美術

### III (7)

- ・イタリアルネサンス
- ・北方ルネサンス
- ・マニエリズム
- ・バロック美術
- ・ロココ美術

### IV (7)

- ・18世紀末～19世紀の美術

### V (5)

- ・20世紀の美術

## 評価方法・対象・比重

レポート評価

## 主要教材図書

適宜レジュメを配布、美術出版社「西洋美術史」、創元社「西洋美術の歴史」

## 参考図書

## その他資料

## 記載者書名欄

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2 年	単 位	1
科目コード	49010	科目名	ファッション特論 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 阿川 周子	共同担当者 : 1 組=阿川 2 組=松本
------------------	-----------------------

教育目標・レベル設定など

デザインから生産をしていくうえで必要な知識を、レギュラー科目以外で補う。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- \* 民族服について (吉村 紅花)・・・(1)
- \* 帽子 (太田 泉・助手有) …… (7)
- \* 生産管理概論 (加藤 紀人) …… (7)

評価方法・対象・比重

出席状態・提出物

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント

記載者書名欄 阿川 周子



# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン2年	単 位	2
科目コード	90010	科目名	英会話 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 薩田 須美子	共同担当者 :
-------------------	---------

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

英会の基本的な文法を学習したレベルを想定し、英語をツールにしたコミュニケーションをとれるようにさらに英語の運用力を高めることを目標とする。グループ、ペア・ワークを中心に会話の模擬体験を通してコミュニケーションには何が必要かを体感できることを目指す。ファッションを専攻しているがくせいなのでファッションに関する語彙なども導入する。

1	オリエンテーション・自己紹介	14	友人の夏休みレポート
2	<b>Unit 1 What Shall I Wear?</b> ファッションアイテム	15	<b>Unit 5 What's Hot and What's Not?</b> 流行とファッション 形容詞
3		16	
4	<b>Unit 2 What Color Is It?</b> 色と柄	17	
5		18	<b>Halloween</b>
6		19	<b>Unit 6 What Does He Look Like?</b> 人物描写
7	<b>Unit 3 What's It Made Of?</b> 素材とケア	20	
8		21	
9		22	
10	<b>Unit 4 Do They Match?</b> コーディネート	23	<b>Christmas</b>
11		24	<b>Happy New Year</b> 年頭の誓い
12		25	<b>What I Am Making</b> 作品描写
13	まとめ	26	まとめ

評価方法・対象・比重

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等 : "Fashionable English" Nan' un-do

記載者署名欄 薩田 須美子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12202	科 名 アパレルデザイン2年	単 位	2
科目コード 90710	科目名 フランス語 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : ジル・ランドウーチ	共同担当者 :
----------------------	---------

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

初めてフランス語を学ぶ学生を対象としたクラス運営を目標とする。フランス語独特の音に慣れ、基本的な文法・動詞の活用ができるようにする。またフランス語で簡単に日常的にかかわる挨拶ができるように、また初歩のコミュニケーションをフランス語でできることを目指す。

1	オリエンテーション
2	コース説明・導入
3	être 動詞
4	名詞
5	復習
6	avoir 動詞
7	aller 動詞 + 方向
8	prendre 動詞
9	faire 動詞
10	過去形導入
11	過去形
12	復習
13	場所を示す表現

14	目的(～するため)の表現
15	vouloir 動詞
16	Je voudrais + er 動詞
17	質問詞
18	道案内
19	切符を買う
20	人物描写
21	finir 動詞
22	devoir 動詞
23	sortir 動詞
24	未来形
25	好みを表現
26	まとめと発表

評価方法・対象・比重

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等

EN SCENE I 「場面で学ぶフランス語 1」 Momoyo Takahashi & Nicolas Jgonday 三修社

記載者署名欄 薩田 須美子

# 2015 年度 カリキュラム科目概要

科コード 12202	科名 アパレルデザイン科 2 年	単 位	2
科目コード 56210	科目名 グラフィックワーク I	授業期間	通年

担当教員(代表)：西村元良	共同担当者：加藤正人・B117staff
---------------	----------------------

## 教育目標・レベル設定など

ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身につけると同時に、各自のデザイン能力の向上を目指す。

- CG を使用したデザイン画の基本制作と CG 活用術
- ドロー系ソフト/Illustrator の基本操作と
- ペイント系ソフト/Photoshop での基本操作

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

テーマ：基本操作と表現力の技能習得

Illustrator と Photoshop の基本操作の説明と活用方法

方法：PC の基本操作… 1 コマ

- PC の起動と終了・マウスの使い方(クリック・ダブルクリック・ドラッグ)文字入力、その他
- アプリケーションソフトの起動と終了
- ファイルの保存、ファイルとフォルダの管理

カラージュ画像の制作… 5 コマ

- 画像の合成、加工・様々なテクチャーの制作・デザイン画の張り込み

ファッションデザイン画の取り込みと画像の修正、着色… 6 コマ

- デザイン画のスキャニング、保存
- Photoshop の基本操作(選択範囲の作成、レイヤー操作、ペイントの設定、他)
- デザイン画の修正と着色、影付け、色替え

Illustrator の基礎… 7 コマ

- Illustrator の基本操作(パスの操作、塗りと線、フォントの使用、レイヤー操作)
- パスの操作応用・アイテムごとのトレース練習

衣服製品図の制作… 7 コマ

- デザイン画の細部表現(アイテム別に柄を当て込む)
- 製品図(ハンガーイラスト/T シャツ・ジャケット・ブルゾン)の制作
- 効率的な製品図の描き方

製作物：着色デザイン画 2・カラージュ画像・製品図

コマ数：27 コマ (Test 含む)

他科目との関連性：デザイン展開・レイアウトの効率化・データの共有化

使用ソフト名：Adobe 社 Illustrator/Photoshop

## 評価方法・対象・比重

試験 (4)、課題製作物 (4)、出欠日数 (2) の比重で行う

## 主要教材図書

グラフィック マスター ブック

## 参考図書

特にありません

## その他資料

筆記用具、USB2.0 フラッシュメモリ 2.0 G 以上 (推奨)、ファイルホルダー A 4 サイズ

## 記載者署名欄

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12202	科 名 アパレルデザイン科2年	単 位	2
科目コード 06601	科目名 (選択科目) 創作研究	授業期間	通年

担当教員(代表)：阿川 周子	共同担当者：1組＝阿川 2組＝松本
----------------	-------------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>コンテストを中心に積極的にデザイン画を描き、デザイン感覚と技術を養う。</p> <p>また、入選した場合は製作時間として作品製作に取り組む。</p> <p>コラボレーションなどのイベントにも参加する。</p>
---

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>(実習内容)</p> <p>各コンテスト課題のデザイン画を描き、提出期限までに必ず提出する。 入選した場合、製作時間とする。 コラボレーションなどのイベントの時間が入る場合もある。</p> <p>(応募コンテスト)</p> <p>名古屋ファッションコンテスト 東京新人デザイナーファッション大賞 千年大賞 浜松シティーコンペティション 神戸ファッションコンテスト 文化服装学院 学内コンテスト 装苑 など</p> <p>*1年間のデザイン画ファイル(A4, B4)提出</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出欠、課題、ファイル提出</p>
---------------------------------------

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	コンテスト概要

<p>記載者書名欄</p> <p>阿川 周子</p>
----------------------------

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	1
科目コード	98162	科目名	特講Ⅱ・キャリア開発（コミュニケーション）	授業期間	通年

担当教員（代表）：阿川 周子	共同担当者：1組＝阿川 2組＝松本
----------------	-------------------

教育目標・レベル設定など

アパレル産業の現状、先輩の実体験からのアドバイス、そして服飾造形にかかわる知識として、  
レギュラー授業に加えたい内容の講義。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、  
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、キャリア開発・・・森 薫子 7コマ
- 2、コレクション情報・・・向 千鶴 松下 久美 4コマ  
最新のトレンドについて
- 3、デザイナーの実務と必要条件・・・内田 聖
- 4、マーチャンダイジングについて・・・丹治龍子
- 5、古美術研修予備講話・・・村松哲文  
古美術について
- 6、航空自衛隊装備品の機能について・・・尾崎 博和  
クリエイティブデザインについて
- 7、デザイナーの実務・・・宇津木えり  
クリエーション活動

評価方法・対象・比重

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 阿川 周子

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	1
科目コード	98162	科目名	特講Ⅱ・キャリア開発（コミュニケーション）	授業期間	通年

担当教員（代表）：阿川 周子	共同担当者：1組＝阿川 2組＝松本
----------------	-------------------

# 教育目標・レベル設定など

アパレル産業の現状、先輩の実体験からのアドバイス、そして服飾造形にかかわる知識として、レギュラー授業に加えたい内容の講義。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、キャリア開発・・・森 薫子 7コマ
- 2、コレクション情報・・・向 千鶴 松下 久美 4コマ  
最新のトレンドについて
- 3、デザイナーの実務と必要条件・・・内田 聖
- 4、マーチャンダイジングについて・・・丹治龍子
- 5、古美術研修予備講話・・・村松哲文  
古美術について
- 6、航空自衛隊装備品の機能について・・・尾崎 博和  
クリエイティブデザインについて
- 7、デザイナーの実務・・・宇津木えり  
クリエーション活動

# 評価方法・対象・比重

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 阿川 周子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	1
科目コード	96100	科目名	校外研修Ⅱ	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：阿川 周子	共同担当者：1組＝阿川 2組＝松本
----------------	-------------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>日本の伝統文化の中心である古都（京都、奈良）に赴き、仏教美術、仏像建造物、庭園などの美に触れ、またファッションショーや美術館の展示を鑑賞することによって感性、発想力を養い、美の本質を知り、教養を高める。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>●古美術研修旅行……（13）</p> <p>飛鳥、奈良、平安、藤原、鎌倉、各時代の代表的な仏閣、仏像を巡り、併せて博物館</p> <p>国宝館、美術館、記念館、庭園も含めて3泊4日の日程で研修する</p> <p>●その他</p> <p>美術館・博物館見学</p> <p>展示会</p> <p>イベント等の見学</p>
---

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>参加・不参加・研修レポート及びデザイン発想による評価</p>
---

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者書名欄	阿川 周子
--------	-------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12202	科 名 アパレルデザイン科2年	単 位	2
科目コード 96571.96572	科目名 企 業・学 内 研 修（選択）	授業期間	後期

担当教員(代表)：阿川 周子	共同担当者：1組＝阿川 2組＝松本
----------------	-------------------

## 教育目標・レベル設定など

アパレル業界の現場・現状を把握させるために、アパレル企業で実際に研修を受けることで、学校教育で体験できない実学を学ぶ。

就職希望者の企業研修期間中に平行して、企業研修に参加しない学生は学内研修を受講

※1W → 96571 1単位

## 企業研修内容

企業の業務概要と、研修部門での業務について指導を受け、補助的な仕事に従事する。  
終了後、研修報告をプレゼンテーションにて発表する。

## 学内研修内容

- 1、SE(履歴書)・面接を乗り切る!① ～自己分析～
- 2、SE(履歴書)・面接を乗り切る!② ～ES～
- 3、SE(履歴書)・面接を乗り切る!③ ～個人面接～
- 4、SE(履歴書)・面接を乗り切る!④ ～グループディスカッション～
- 5、ニュースで知る世界と日本Ⅰ
- 6、ニュースで知る世界と日本Ⅱ
- 7、ディスプレイ①
- 8、ディスプレイ②
- 9、ピンワーク①
- 10、ピンワーク②
- 11、想像力と創造力の発揮①
- 12、想像力と創造力の発揮②
- 13、コミュニケーションと文化Ⅰ
- 14、コミュニケーションと文化Ⅱ
- 15、リクルートカラー自分色
- 16、商品企画カラー戦略
- 17、挨拶とビジネスマナーⅠ
- 18、挨拶とビジネスマナーⅡ
- 19、グラフィックワークⅠ
- 20、グラフィックワークⅡ
- 21、ポートフォリオ概論①
- 22、ポートフォリオ概論②
- 23、OEM ①
- 24、OEM ②
- 25～34、自由実習(マップ、型出し、実物制作など)10コマ
- 35～36、3.4限準備・発表 2コマ

計＝36コマ

※企業研修・学内研修のどちらかを選択する

## 評価方法・対象・比重

出欠、及び研修先からの報告書、各自の感想とプレゼンテーション

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者書名欄 阿川 周子



科コード 12202	科 名 アパレルデザイン科 2 年	単 位	1
科目コード 42200	科目名 特論 生産管理	授業期間	後期

担当教員(代表) : 北村 都美子・	共同担当者 :
--------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など。200 字以内で記入してください。HP 等に引用し、公開します。)

アパレル産業界の各部署の役割、仕事の流れ方、作品と製品の違い、生産管理の活動について理解する事を目的とする。  
生産実務における、問題点と対処法を理解し、縫製仕様書、加工・裁断・芯貼指図書による情報伝達、工程分析表を活用し  
Q(品質)C(原価)D(納期)の実現を目指す。

安定した品質を実現させる仕組み(標準化)を学び、原価と小売価格との関係について学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

#### I. アパレル産業の生産プロセス (1 コマ)

- ①. 服造と生産の違い
- ②. 生産の仕組み
- ③. メーカーと工場の各部署の役割と仕事の流れ、関わり方

#### II. 製造指示書類 (2 コマ)

- ①. メーカーから、工場へ業務依頼する際の書類の目的と役割
- ②. 加工、裁断、芯貼り指図書、縫製仕様書について

#### III. 工程分析表 (1 コマ)

- ①. 基礎(シャツ)
- ②. 工程分析表の構成と役割を知る
- ③. 工程分析の利用方法

#### IV. 品質 (1 コマ)

- ①. 品質の種類
- ②. PL 法(製造物責任法)
- ③. 品質検査

#### V. 今後の動向 (2 コマ)

- ①. 国内生産と海外生産
- ②. 生産委託の種類と特徴
- ③. 原価の基礎知識

評価方法・対象・比重

出席率

主要教材図書 「工業用ミシン・アイロンの基礎知識」

参考図書 特になし

その他資料 工場 DVD

記載者書名欄 北村 都美子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科 2 年	単 位	0・5
科目コード	34000	科目名	帽 子	授業期間	前期

担当教員(代表)： 太田 泉	共同担当者：
----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

- 帽子の一般常識と帽子に対する知識を深め、服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる
- トータルイメージを表現する力を養い、作品製作を通して帽子のイメージや服とのバランス感覚などを把握

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### I・オリエンテーション 講義 1コマ

- ・帽子の形の種類、素材、木型、用具など専門性の説明
- ・冬物帽子のデザイン相談

### II・実物制作 1点

#### (1) 冬物帽子(フェルト帽体) 講義、演習 6コマ

- ・ファーフェルト等、帽子用フェルト帽体による実物製作
- ・木型など専門用具の使用方法、型入れによる形づくりを指導
- ・木型、スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成型方法を指導

## 評価方法・対象・比重

作品：授業姿勢 8：2

## 主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

## 参考図書

各種帽子写真集など

## その他資料

コスチューム資料室標本

## 記載者書名欄

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科 名 アパレルデザイン科3年	単 位	20
科目コード 05021	科目名 アパレルデザイン論Ⅱ・演習Ⅱ	授業期間	前期・後期

担当教員(代表): 大村 京子	共同担当者: 太田 るみ子
-----------------	---------------

## 教育目標・レベル設定など

ファッションの多様化、個性化に対応しつつ、アパレル業界での企画及びデザイナーとして活動していく人材を育成する。課題のトータルな学習に伴い、個性を生かした感性の高いバランス感覚を養いながら、上級としての応用理論の実践と研究を展開する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

アパレルデザイン論	前期2単位	後期2単位
アパレルデザイン演習デザイン	前期3単位	後期3単位
アパレルデザイン演習実技	前期2単位	後期3単位
アパレルデザイン演習ドレーピング	前期2単位	後期3単位

- |               |             |                                       |
|---------------|-------------|---------------------------------------|
| 1. カジュアルスーツ   | 55コマ(前期)    | デザイン・パターン・実物製作・レポート<br>(奈良コラボレーション作品) |
| 2. 水着・インナーウェア | 33コマ(前期)    | デザイン・パターン・実物製作・レポート                   |
| 3. バザー作品      | 45コマ(前期・後期) | 文化祭バザー作品、グループ製作                       |
| 4. ニューフォーマル   | 35コマ(前期・後期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート                   |
| 5. ウィンターコート   | 52コマ(後期)    | デザイン・パターン・実物製作・レポート                   |
| 6. ウェディングドレス  | 25コマ(後期)    | デザイン・パターン、グループ製作                      |

(使用ボディ・・・文化ボディ、工業用ボディ)

## 評価方法・対象・比重

- ・アパレルデザイン論・・・筆記試験
- ・デザイン・実技・・・製作物
- ・ドレーピング・・・実技試験、提出物

## 主要教材図書

服飾造形講座④、⑤、⑥、⑦、アパレル生産講座④

## 参考図書

## その他資料

- ・アパレルデザイン科でまとめたオリジナルのレジュメ・サブテキスト・参考作品

記載者書名欄 大村 京子

科コード 1220 科 名 アパレルデザイン科 3年		単 位 1
科目コード 1730 科目名 工業ニット演習		授業期間 後 期
担当教員(代表)：升崎 登美子／田才 由美子		共同担当者：升崎 登美子／田才 由美子
教育目標・レベル設定など ・ニットの基礎知識を習得し、指示書作成のための商品知識を理解する ・ニットの服作りのための基礎技術及び縫製方法を理解する		
授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、		
[ニットの基礎知識]		時数 ④
講義 ・ニットアパレルの総合知識(基本用語、商品知識、各種編糸、編地配布) ・ニットの服作りの企画、生産工程に至る流れと基礎技術の解説		
[ニットの各テクニックの習得と編サンプル作り]		④
講義 ・テクニックにおける基本的な知識		
実習 1、棒針編み…緯編みの基本組織と編み方の理解 2、鉤針編み…鉤針の基本の編み方の理解 3、工業編機…工業用手横機(7G)を用い、基本編地編み立て		
[カットソー]		②
実習 1、Tシャツ製作…ニット用特殊ミシン(工業用ミシン)を使用し、伸縮に対応した縫製方法を習得する 2、特殊ミシン縫製サンプル作成 (1と2それぞれ半数ずつ実習)		
[ニット商品]		④
講義 ・横物商品の種類と製造工程の違いによる区分 ・リンク縫製について		
[横編ニット製品の指示書製作]		②
講義 ・ニットの商品知識をもとに指示書の作成法を指導		
実習 1、横編ニットの製品分析		
[ニット実習室見学]		
評価方法・対象・比重 提出物 ニットファイル…80% 授業姿勢…20%		
主要教材図書 オリジナルプリント (ニットアパレルの基礎知識、商品知識、及び実習指導用)		
参考図書 文化出版「文化ファッション講座 アパレルの素材と製品」「文化服装講座 編み物編」		
その他資料		
記載者書名欄 升崎 登美子		

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科 3 年	単 位	1
科目コード	49020	科目名	ファッション特論 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：	大村 京子	共同担当者：	太田 るみ子
-----------	-------	--------	--------

## 教育目標・レベル設定など

アパレルデザイン論及び演習の知識をより深く理解する為に、実学経験者から教授を頂き、服飾造形への興味とともに教養を高める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

レギュラー科目内特別講義 【科目名：アパレルデザイン論演習】

## 1、 デジタルプリント：デジタルプリントデモンストレーション

飯塚 有葉

## 2、 ピンワーク：ピンワークによるデザインとテクニック表現

(株)七彩

多田 園江

## 3、 毛皮について：毛皮の素材特性、テクニックを学びデザイン発想する

梨本 チエ子

## 4、 ピンワーク：ヴィジュアルマーチャンダイジング

(株)クリエーション・パン・スリー

早乙女 喜栄子

## 評価方法・対象・比重

出・欠席、感想文、演習作品

## 主要教材図書

毛皮関連、ピンワーク、講師の先生によるテキスト

## 参考図書

## その他資料

実物標本、墨入れ、ファッション情報誌、新聞、映像資料、スライド

記載者書名欄 大村 京子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科3年	単 位	単位 2
科目コード	51130	科目名	ファッションデザイン画Ⅲ	授業期間	通年 ( )

担当教員(代表) 岡本あずさ	共同担当者 :
----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各自のデザインテーマを設定し、年間を通して様々な角度からバリエーションの幅を広げる

アパレルデザインのプロとして必要とされる表現方法、又相手に対するプレゼンテーションの方法、自らをアプローチする方法を常に意識し考えながら表現し、作品制作を目指していくことを目標とする

コマ	内 容	コマ	内 容
1	着色表現 年間カリキュラム説明	16	↑ テーマからのデザイン発想(バリエーション) (c)
2	↑ 画材研究	17	(コラボレーション) (A) のテーマを軸に
3	↑ マーカー パステルテクニック	18	↑ 注目する企業、アーティスト等とのコラボレーション
4	↓	19	↓ 企画、デザイン展開の可能性を考える
5	↑ テーマからのデザイン発想(A)	20	↑ テーマからのデザイン発想(バリエーション) (d)
6	↑ 各自年間テーマを設定し、研究をし	21	↑ 校内ファッション画展 (パネル制作)
7	↑ 自分の軸となるデザインワークへとつなげる	22	
8	↓ (テキスタイル提案)	23	↓
9	↑ テーマからのデザイン発想(バリエーション) a	24	↑ まとめ
10	↑ (A) での設定したテーマにサブテーマとカラー(色)	25	↑
11	↓ とアイテムに注目しデザイン展開を考える	26	↓
12	↑ テーマからのデザイン発想(バリエーション) b	27	
13	↑ (A) で設定したテーマにサブテーマをプラス	28	
14	↑ デザイン展開を考える	29	
15	↓	30	

評価方法・対象・比重

提出課題を中心とし、その作品出席状況及び授業態度による総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 各分野での展示会カタログやアーティストの本 卒業生の参考作品等

記載者氏名 岡本あずさ

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科3年	単 位	1
科目コード	61100	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表)：波多野 辰美	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル業界に於けるマーケティング業務の実務を講義と演習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる。</p>
---

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
<p>テーマ ファッションマーケティングの概要 (講義) コマ数＝5</p> <p>アパレルのマーケティングに必要な理論と方法を解説する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング業務オリエンテーション</li> <li>・ブランドとは、その定義</li> <li>・VMDの必要性和SKU算出法の解説と実践</li> <li>・カセット企画とは</li> <li>・MDマップの意味と作成方法</li> </ul>
<p>テーマ ファッションマーケティングの実践 (講義、グループ演習) コマ数＝8</p> <p>マーケットで「売るため」のブランド立上げのシミュレーション</p> <p>各グループでオリジナルブランドの立上げを企業と同様の手順で行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット設定と分析</li> <li>・販路設定</li> <li>・コンセプト設定</li> <li>・イメージマップ作成</li> <li>・スタイリングマップ作成</li> <li>・MDマップ作成</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>課題レポート、シミュレーションの完成度、出席日数</p>
---

<p>主要教材図書</p> <p>レジュメ使用</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者書名欄</p>
---------------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科 名 アパレルデザイン科 3年&メンズデザインコース3年	単 位	単位 1
科目コード 63102	科目名 アパレルマーチャンダイジングⅡ(自由選択)	授業期間	( 前期 )

担当教員(代表) : 丹治龍子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1. アパレル製造業の企画実務をベースに、クリエイションとビジネスの両面からみたデザイナーの育成を目指す。
2. ブランディングの過程(2年時作成/コンセプト資料)を通し、店頭MDに即した企画立案計画、商品企画&デザイン、並びにプレゼンテーション方法などの実践を行い、デザイナーとして必要な商品化計画のスキルアップを行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	2017S/Sシーズン企画立案 : ①社会環境&市場分析	16	
2	〃	17	
3	②S/Sシーズン企画立案	18	
4	〃	19	
5	③ファッションイメージマップの作成	20	
6	〃	21	
7	④スタイリングマップ/デザイン画作成	22	
8	〃	23	
9	生産計画 : ①生産ロット～上代計画	24	
10	〃	25	
11	②展示会企画書作成	26	
12	〃	27	
13	シーズン企画プレゼンテーション	28	
14	〃	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

- \* 作品評価/
- \* コンセプトブック作成資料の評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 業界新聞、トレンド誌、ファッション雑誌 等

記載者氏名



# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科 名 アパレルデザイン科 3 年	単 位	2 単位
科目コード 56220	科目名 グラフィックワーク	授業期間	( 27 )

担当教員(代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 : 松尾
------------------	------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成などを学び、ビジュアル・プレゼンテーション（企画書）製作を習得する。また、デザイン画をC.Gで描く事、バッグやベルト等の小物アイテムを描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかりやすい見せ方」を習得する

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オブジェクトの作成と変形、長方形から身頃を描く	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	19	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
5	シャツを描く=フリル・ペブラムの表現	20	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
6	シャツを描く=デザインの効果的な展開方法	21	スタイル画を描く=色や柄を展開したイラスト
7	ジャケット&ボトムを描く（フロント&バックスタイル）	22	デザイン企画書の制作
8	ジャケット&ボトムを描く（フロント&バックスタイル）	23	デザイン企画書の制作
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	デザイン企画書の制作
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	デザイン企画書の制作
11	ハンガーイラストでの商品展開（レジュメ）の作成	26	デザイン企画書の制作
12	ハンガーイラストでの商品展開（レジュメ）の作成	27	デザイン企画書の制作
13	ハンガーイラストでの商品展開（レジュメ）の作成	28	
14	ベルト、バックルを描く=金属の表現、レースアップ表現	29	
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	30	

評価方法・対象・比重

課題制作物＜スキル及びデザイン・イメージの表現力＞・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科 名 アパレルデザイン科3年	単 位	2 単位
科目コード 56220	科目名 グラフィックワーク	授業期間	( 27 )

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者： 松尾
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成などを学び、ビジュアル・プレゼンテーション（企画書）製作を習得する。また、デザイン画を C.G で描く事、バッグやベルト等の小物アイテムを描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかりやすい見せ方」を習得する

授業概要＝テーマ（大・中・小）、方法（講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など）、制作物、

テーマ：（大）C.Gを利用して表現するビジュアルなプレゼンテーション資料(企画書)の作成

（中）イラストレーターによるイラスト・テキストイル図案・小物デザインなどの作成

（小）デザイン、企画展開のスピードアップ

授業内容：イラストレーターによるハンガーイラスト及デザイン画の作成

イラストレーターによる柄の作成

イラストレーターによるテキストデータの作成

フォトショップによる先染め柄のシュミレーション

イラストレーターを使って企画書を編集

授業方法：生徒の前で実演する

生徒に実習させ、個々の作業をサポートする

学習用のデータを配布

制作物：デジタル・ディレクションマップ及び企画書の作成

使用パソコン及びソフト：imac アドビ イラストレーターCS5 ・アドビ フォトショップCS5

評価方法・対象・比重

課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科3年	単 位	1単位
科目コード	20050	科目名	プリントデザイン	授業期間	半期 (後期)

担当教員(代表): 篠原 幸子	共同担当者: 伊藤 望
-----------------	-------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

実習を通じプリント加工の知識や技術を理解させる。またそれら生地を使用したアパレル製品の取り扱いや品質表示の知識についても理解を深め、商品の企画・デザインを行う際の基礎知識として活用できるよう指導する。

1. 染色概論 (1コマ) ・ 染色の意義と、繊維と染料の関係、染色性全般の復習 (講義)
2. 捺 染 (5コマ) ・ 量産による染色生地生産工程の流れの理解 (講義・実習)
  - ・ ハンドスクリーンプリントの特性を理解させる
  - ・ デザインモチーフから連続柄の構成法について理解させる
  - ・ 色糊と助剤の関係の理解
  - ・ スケージング、仕上げ工程の理解 (プリント工程)
  - ・ 反応性染料によるプリント
3. 抜蝕加工(オパール加工)(2コマ) ・ 繊維ごとの薬品による影響と加工法、 (講義・実習)
  - ・ 繊維の複合状態と布表現の効果の理解
4. 抜染(白色抜染と着色抜染)(2コマ) ・ 染料の性質の違いとプリント効果の理解 (講義・実習)
5. まとめ (4コマ) ・ 実習内容の再確認(小テスト)、総まとめ (講義・試験)

評価方法・対象・比重

各実験・実習ごとの作品、レポートによる総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座 3. アパレル染色論

参考図書

その他資料

記載者氏名 篠原 幸子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科3年	単 位	1
科目コード	31000	科目名	アクセサリー（自由選択）	授業期間	前期

担当教員(代表)：中川清美	共同担当者：
---------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。アンティークや新しい素材を幅広く取りこみ、オリジナリティの高い作品、アートアクセサリーの制作、そして服作りのヒントにと意識している。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### 1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー

参考作品の素材説明とアイデア提案、アートアクセサリーデザイン

### 2. アートアクセサリー制作実習

樹脂の扱い方・説明、アメリカンフラワー扱い方・説明、中川作品鑑賞

### 3. アクセサリー制作実習

アクリル絵の具・助剤について、塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法・仕上げ

### 4. シルバー粘土 制作実習

シルバー粘土の特性・扱い方

### 5. シルバー粘土 制作実習

### 6. アンティークジュエリー鑑賞 講義

ヨーロッパを中心に19C中頃から'50Sのジュエリーの細工・特徴について、ジュエリーの諸知識について

### 7. ヨーロッパ・アジア・日本の色について講義

アジア・日本・ヨーロッパの布の鑑賞、素材について講義

## 評価方法・対象・比重

作品提出・英字評価

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

## 記載者書名欄

# 2015年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科3年	単 位	1
科目コード	92600	科目名	美学	授業期間	後期

担当教員(代表) : Die-co★(ダイコ★)小林大輔	共同担当者 :
------------------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

西洋美術の歴史を学びながら、実際のデザイナー達がどのようにアートにインスパイアされてコレクションをクリエイトしているかを、実例をあげながら学んでいきます。PCを使用し、解り易い解説を志し、その時代の気分を強く表現したアーティストのプロモーションビデオや映画等の紹介も含め、美術に対する関心をより深め、西洋美術の流れを学ぶ授業を目指します。

評価方法・対象・比重

全授業終了時に画家や芸術運動をテーマにしたマイコレクション(32枚~42枚)のデザイン画を、画家や芸術運動のリサーチレポート、デザインコンセプト等と合わせて提出させます。

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名

# 2015年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科3年	単 位	1
科目コード	94500	科目名	プレゼンテーション論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表) :	Die-co★(ダイコ★)	共同担当者 :	
------------	---------------	---------	--

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

これからのデザイナーにもっとも必要で、且つ日本でファッションを学ぶ生徒達が一番欠けているコミュニケーション能力を高める事を目指す授業です。最終時にそれぞれ数分の時間でプレゼンテーションを行い、その実技の為に、作品制作や作品の撮影、プレゼンテーションの為にコンセプトや資料制作等の実習と、個々のカウンセリングや実習を含めながら授業を進めて行きます。

評価方法・対象・比重

全コマ数終了時に一人数分感の時間でプレゼンテーションを行い、そこでの評価となります。

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名
-------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン3年	単 位	2
科目コード	90020	科目名	英会話 II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 薩田 須美子	共同担当者 : James Knight
-------------------	----------------------

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

英会話 I を履修した学生対象のコースで、英語をツールにしたコミュニケーションをとれるようにさらに英語の運用力を高めることを目標とする。グループ、ペア・ワークを中心に会話の模擬体験を通してコミュニケーションには何が必要かを体感できることを目指す。文法中心ではなく、体験的なクラス運営を試みる。

1	オリエンテーション	14	ファッションショー、文化の卒業生
2	過去形・未来形の確認	15	衣類・アクセサリ・食べ物
3	過去形の運用	16	布地の選択
4	完了形の運用	17	デザイン・スタイル・布地の比較
5	人物描写	18	人物・土地・ファッション業界を説明する
6		19	道案内の仕方
7	形容詞の運用	20	人物の行動を説明する
8		21	
9	ファッションアイテム、色、柄、素材の語彙の確認	22	過去のファッション流行の説明
10		23	
11	未来形の運用	24	過去・未来の可能性、義務
12	自分自身の作品のテーマ、色、柄、素材などを英語でまとめ、発表する。	25	
13		26	後期のまとめと復習

## 評価方法・対象・比重

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

## 主要教材図書・参考図書・その他資料等

担当教員の準備する配布物

記載者署名欄 薩田 須美子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科 3 年	単 位	2 単位
科目コード	90720	科目名	フランス語Ⅱ	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) 遠藤かおり	共同担当者 :
----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

フランス語文法の仕組みを理解し、正しい発音で簡単な会話を自発的にできるようになることを目指す。  
終了時に仏検 5 級合格レベルを目指す。また、フランス映画や詩の音読によりフランス文化に親しむ。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	前年度まとめの復習	16	今何時ですか?時間の表現(2)
2	前年度まとめの復習	17	どんな天気?天気の表現と形容詞
3	フランス語で自己紹介	18	私は～をする予定です。近未来の表現(1)
4	私は～を着ています。服飾関係の単語(1)	19	私は～をする予定です。近未来の表現(2)
5	私は～を着ています。服飾関係の単語(2)	20	私は～をしたばかりです。近過去の表現(1)
6	私は～に行く。不規則動詞の活用(1)	21	私は～をしたばかりです。近過去の表現(2)
7	私は～に行く不規則動詞の活用(2)	22	私は～ができる。～をしなければならない。  POUVOIRとVOULOIR(1)
8	週末は何をする?不規則動詞の活用(3)	23	私は～ができる。～をしなければならない。  POUVOIRとVOULOIR(2)
9	私は～をしたい、なりたいです。願望を伝える	24	2年間まとめ(1)  仏検の問題を解いてみる
10	前期のまとめ	25	2年間まとめ(2)  仏検の問題を解いてみる
11	前期のまとめ小テスト	26	まとめの小テスト
12	前期の復習	27	
13	家族や友達について話す。所有形容詞	28	
14	家族や友達について話す。所有形容詞	29	
15	今何時ですか?時間の表現(1)	30	

評価方法・対象・比重

出席と授業態度50% 小テスト50%

主要教材図書 EN SCENE(SANSHUSHA)、プリント



参考図書	パスポート初級仏和辞典（白水社）
その他資料	
記載者氏名	遠藤かおり

# 2015年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード	12213	科 名	アパレルメンズデザイン科3年	単 位	2 単位
科目コード	56220	科目名	グラフィックワークⅡ	授業期間	2 授業期間通年

担当教員(代表)：加藤正人	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。

衣服製品図/デジタルファッション画の展開力、応用力、細部表現等、実務能力習得を目指す。

ブランドロゴ及びブランディングツール製作を通してグラフィックによるファッションブランディングの意識を養う。

## (1) デジタルファッション画の制作(5コマ)

- ・Photoshopによるファッションデザイン画、スタイル画の製作
- ・デザインの展開

## (2) 衣服製品図の制作/応用(2コマ)

- ・Illustratorによる衣服製品図の製作
- ・デザイン展開
- ・デザイン画のまとめ方/レイアウト

## (3) グラフィックパターンの製作(7コマ)

- ・連続柄の制作(Photoshop, Illustrator)
- ・柄の送り、リピートの製作
- ・デジタルファッション画、衣服製品図の制作と柄の落とし込み
- ・レイアウト、デザイン解説とまとめ

## (4) ブランドロゴの製作(7コマ)

- ・CI(コーポレートアイデンティティ)について
- ・ブランドロゴの機能と役割
- ・シンボル、図形、マークのデザイン製作
- ・文字、タイプのデザイン製作

## (5) ブランディングツールのデザイン(9コマ)

- ・各ブランディングツールの機能と役割
- ・商品下げ札(プロダクトカード)のデザイン
- ・織りネーム(ブランドタグ)のデザイン
- ・モノグラムデザイン
- ・ショッパーのデザイン
- ・自由

## 使用ソフト

- ・Mac OS
- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

評価方法・対象・比重

実技試験(前期) 出席率 課題別各種プリント

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 なし
記載者氏名

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科3年	単 位	1
科目コード	98130	科目名	特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 大村 京子	共同担当者： 太田 るみ子
-----------------	---------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル業界で活躍している講師を招聘し、実社会の動向、現状、情報、未来への展望や、様々な関わりに対処する為の考え方、アドバイスを経験者の生の声で語って頂き、社会に目を向け、自己を見つめ直す機会として参考にする。</p>
--

1、ファッションジャーナリストの現場、ブロガーの活動内容：東京トレンド情報	
ファッションジャーナリスト、ブロガー	ミーシャ・ジャネット
2、イッセイミヤケの世界：デザイナーの仕事	
	宮前 義之
3、イッセイミヤケ：クリエイティブディレクターの仕事	
	藤原 大
4、デザイナーの仕事	
	岩谷 俊和
5、デザイナーの仕事：デザイナーの仕事（企業デザイナーとして）	
	佐谷 眞樹
6、デザイナーの仕事	
	高橋 盾
7、トップデザイナーのマネジメント：トップデザイナーを支える裏方としてのお話	
(株)ティー・シー	森山 和之
8、美術家MAG O：ものづくりの哲学と精神論	
	長坂 真護
9、デザイナーの仕事	
SOMAデザインスタジオ	廣川 玉枝
10、オペラ鑑賞：予備講話	
	上木 幸夫
11、舞台衣装の世界	
	渡邊 礼子
12、デザイナーの仕事	
Robes&Confection	土屋 郷
13、コレクション情報：春夏トレンド情報	
ファッションニュース編集長兼、WWD ジャパンマネジングエディター 村上 要	

評価方法・対象・比重 … 出・欠席、感想文、
------------------------

主要教材図書
その他資料
コレクション作品と参考資料作品、プリント資料、映像資料、スライド

<p>記載者書名欄 大村 京子</p>
---------------------

科コード	12203	科 名	アパレルデザイン科 3 年	単 位	2
科目コード	06602	科目名	創作研究Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 大村 京子	共同担当者：太田 るみ子
-----------------	--------------

## 教育目標・レベル設定など

各自の作品制作のための創作研究、卒業制作作品に向けての研究活動、過去作品のポートフォリオ製作時間として取り組む。

また、コンテスト活動やコラボレーション・イベントの課外活動なども参加し、デザイン感覚と技術を養う。

コンテストへ入選した場合は制作時間として作品制作に取り組む。

各自に上記内容を参考に年間スケジュールを自由に立てさせ、課題として年度末に1年間研究した内容をまとめたものをレポートにして提出をし、評価の値とする。年間研究のレポート内容をプレゼンテーションさせ、あわせて評価対象とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

### 1. モードコピー (テーマは自由)

モードコピー及び各自のデザイン発想によるドレーピング実習

### 2. コンテスト作品

年間を通して、個人課外活動としてのコンテスト応募でノミネートされた場合の、

作品制作活動(状況に応じて、学校での活動可)

\* 自由作品製作、コンテスト振替作品

### 3. 課題作品

製作課題のバリエーション展開を通して、作品を発展させる。

## 評価方法・対象・比重

作品提出。コンテスト作品の場合は指定課題に振り替える場合もある。

## 主要教材図書

参考図書 ファッション雑誌、図書館資料、トレンド情報、オリジナルテキスト、

その他資料

記載者書名欄 大村 京子

科コード 12203	科 名 アパレルデザイン科3年	単 位	4
科目コード 97900	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)： 大村 京子	共同担当者：太田 るみ子
-----------------	--------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>3年間の集大成として作品を創作する。最終課題にふさわしいテーマを個々に設定し、独創的かつ自由なデザインで挑戦する。オリジナル素材作りに始まり習得したテクニックを思う存分に駆使する。アクセサリーからヘア・メイク、音響効果・照明・映像などに至るまで総合的にデザインを生かしてコーディネートし、卒業制作ショーで発表する。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>卒業研究・創作 後期4単位</p> <p>卒業制作 69コマ(後期) デザイン・パターン・実物製作・レポート</p> <p>①導入 ②デザイン発想 ③型出し(トワル) ④試着補正 ⑤実物仮縫い ⑥縫製 ⑦コーディネート ⑧卒業制作ショー企画</p>
---

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品、コーディネート効果、制作過程での中間点検を加味した評価</p>
---

<p>主要教材図書</p> <p>服飾造形講座⑥、⑦</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p> <p>参考作品</p>

<p>記載者書名欄 大村 京子</p>
---------------------